

## 上海ディズニー「でられない」「たすけて」

JSC 貿易部ニュース 中国編



今月も日本石材センター・貿易部のメールマガジンに目を通して下さり、誠にありがとうございます。

一年は早いもので、今年も残り2ヶ月。だんだんと年末が差し迫ってきております。振り返ってみますと、一年前の11月、日本では夏に発令された緊急事態宣言が9月末で解除され、さらに追加された1カ月間の経過措置期間も終わり、世の中の行動制限の雰囲気も和らぎ、街全体に少し活気が戻り始めてきた頃でした。

私たちはと言いますと、旧正月を控え、年内納品の調整に追われる中、突如、中国の電力不足がニュースとなり、福建省各地の石材工場にも計画停電の影響が出始めるなど、生産や検品のスケジュール調整に忙しかった記憶があります。

さて 2022 年、中国共産党の第 20 回全国代表大会、いわゆる全人代が閉幕し、中国のゼロコロナ政策にもいよいよ変化がみられるのでは？ と期待をしておりましたが、まだまだ訪問再開には時間が掛かりそうな感じです。

11 月 1 日のニュースによりますと、去年 10 月にも来園者の中に残したまま突然、封鎖された上海ディズニーリゾート。またまた再び、多数の来園者がいる中、急遽閉園されたというニュースが報道されていました。

新型コロナウイルス感染対策によるロックダウン措置ですが、中国版ツイッター・<sup>ウェイボー</sup>微博などには、来園者とみられる人の「PCR で陰性にならないと出られない」「助けて」などと訴える書き込みがあったようです。

三期目の続投を決めた<sup>シージンピン</sup>習近平国家主席肝いりの「国際輸入博覧会」が、11 月の初旬に同じ上海で開催される予定になっており、そちらに影響を拡大させないためのロックダウンなのでしょ…

日本も、欧米各国などと比べると制限解除に慎重なお国柄ではありますが、中国のコロナに対する厳しい感染対策はまだまだ変化はないようです。

主要経済国として、唯一「ゼロコロナ」政策を維持する中国では、感染拡大を防ぐためにロックダウンや大規模検査、長期の隔離義務などの厳格な規制を敷いています。いずれは緩和されるのですが、今現在は変異株の出現などもあり、各地でさまざまな緊急措置が繰り返される状況となっています。



福建省の省都・福州でも、100 例ほどの感染が報告されており、またもや封鎖の危機か？ と戦々恐々のようです。

弊社の取引先も、またまた自宅でのテレワークに移行していました。

写真は、PCR 検査の列に並ぶ福州市民。党大会が終わり、これからというときに、いきなり 100 人近くのコロナウイルス感染者が出てしまった福州。

上の写真は、10 日間毎日検査する事が義務化され PCR 検査の列に並ぶ福州市民です。

ゼロコロナ政策は当面堅持のようです。私たちの現地訪問もまだまだ目途が立ちそうにありません。

しかし、中国の皆さん、3年目ともなると慣れたもので素早く検査場に並ばれているようです。日本でも、これから冬にかけて「第8波に注意！」とか「インフルエンザとの同時流行に注意！」などと言われています。まだまだ警戒は必要なのかもしれませんが…  
困ったものです。

とは言いながらも、年末が近づく中、万が一でも大規模なロックダウンに発展するような事態が起きると、製品納期にも大きな影響が出てきますので注意深く見守っていきたいと思います。

合わせて「中国の春節」に関するお知らせです。2023年の春節は1月22日です。旧正月のシーズンが近づいてくると生産にも多少影響が出てまいります。全体的に生産キャパも落ちておりますので、一時に注文が集中する思わぬ影響が出るかもしれません。期限の決まっていますご注文に関しましては、是非、早めのご相談をお願い致します。

御得意先様 各位

来年<2023年>の  
**中国春節スケジュール**  
にご注意を!

2023年の  
中国春節(旧正月・元日)は1月22日です

中国の各工場は1月初旬より職人が帰郷し始め、  
**1月7日～2月5日(元宵節)頃は基本的に停産状態**となります。  
2月5日以降～2月末頃までは職人も出揃わず、フル生産できません。  
春節後の船期でも彼岸にはかろうじて間に合うとは思われますが、  
春節明けのこの期間は、中国各工場への短納期での発注が集中することが予測されます。  
製品の品質及び納期への影響を考えると、来春彼岸用商品の発注につきましては、  
出来る限り2022年内、12月半ばまでの御発注をお願い致します。  
また特に今回の旧正月におきましては、コロナ禍など影響もあり、生産の見通しが非常に立てづらい  
状況ですので、春彼岸の御注文は年内の発注を強くお願いする次第です。  
なお、特に彫刻品・手加工製品を生産している工場は、旧正月明け後の出勤が遅く、納期が不確定  
になりますので、十分ご注意ください。

2022年12月、2023年1月・2月 中国各工場スケジュール

2022年12月							2023年1月							2023年2月						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31					26	27	28				

×…ほぼ停産状態      ▲…減産状態      ☒…船積み無し

※上記はあくまで現時点での予定ですので、変更の可能性がございます。詳細につきましては各営業担当にお問い合わせください。



## さて、今月の石種紹介です

山東産の「623」のご紹介です。福建省産の「623」の在庫が底をつき、現在、多くの石材店様では「湖南 623」や「新 623」といったところを新しくご使用いただいておりますが、ニューフェイス「山東 623」もご紹介させていただきます。

最近、外柵工場に入り始めた石です。比較的大材が取れ、お値段もそれなりにお安めな白御影です。長物も12尺くらいのものが取れ、各周りの大きな天板なども取れそうです。

ご興味をお持ちの石材店様がいらっしゃいましたら、弊社営業員を通じてお尋ね下さい。

欠点は、少し黒玉が入ると吸水率がちょっと高いのかな？という点ですが、追加調査を行いながら、経年変化等についても情報をご紹介していければと思っております。



それでは、今月も最後まで読んで頂き有難うございます。

まだまだ先を見通しづらい状況ではございますが、私たち貿易部も引き続きお客様の商売繁盛を精一杯応援してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

2022/11/01